







第46期前期 最高位戦プロテスト



論述問題（配点 100 点 / 50 分）

- ・ 解答用紙に名前を書くこと
- ・ ルールは最高位戦ルールとする。
- ・ ツモ切りには色がついてある。（ は手出し  はツモ切り）
- ・ 全体牌図では便宜上、
 - ・ 鳴かれた牌も捨て牌に残している
 - ・ ポンにより飛ばされた巡は捨て牌の欄を空欄としている

- ・ 解答の表記は下記の通りとする。

 ～  → 一 ～ 九

 ～  → ① ～ ⑨

 ～  → 1 ～ 9

       → 東南西北白發中

- ・ 解答はなるべく理由を含めて詳細に書くこと。
- ・ 拾うべき要素を拾えているかどうかという点を採点基準としている。

問題 1 (配点 50 点)

西家 31500

南4局0本場

北家 19800

南家 32000

供託なし

ドラ 伍萬

東家 36700

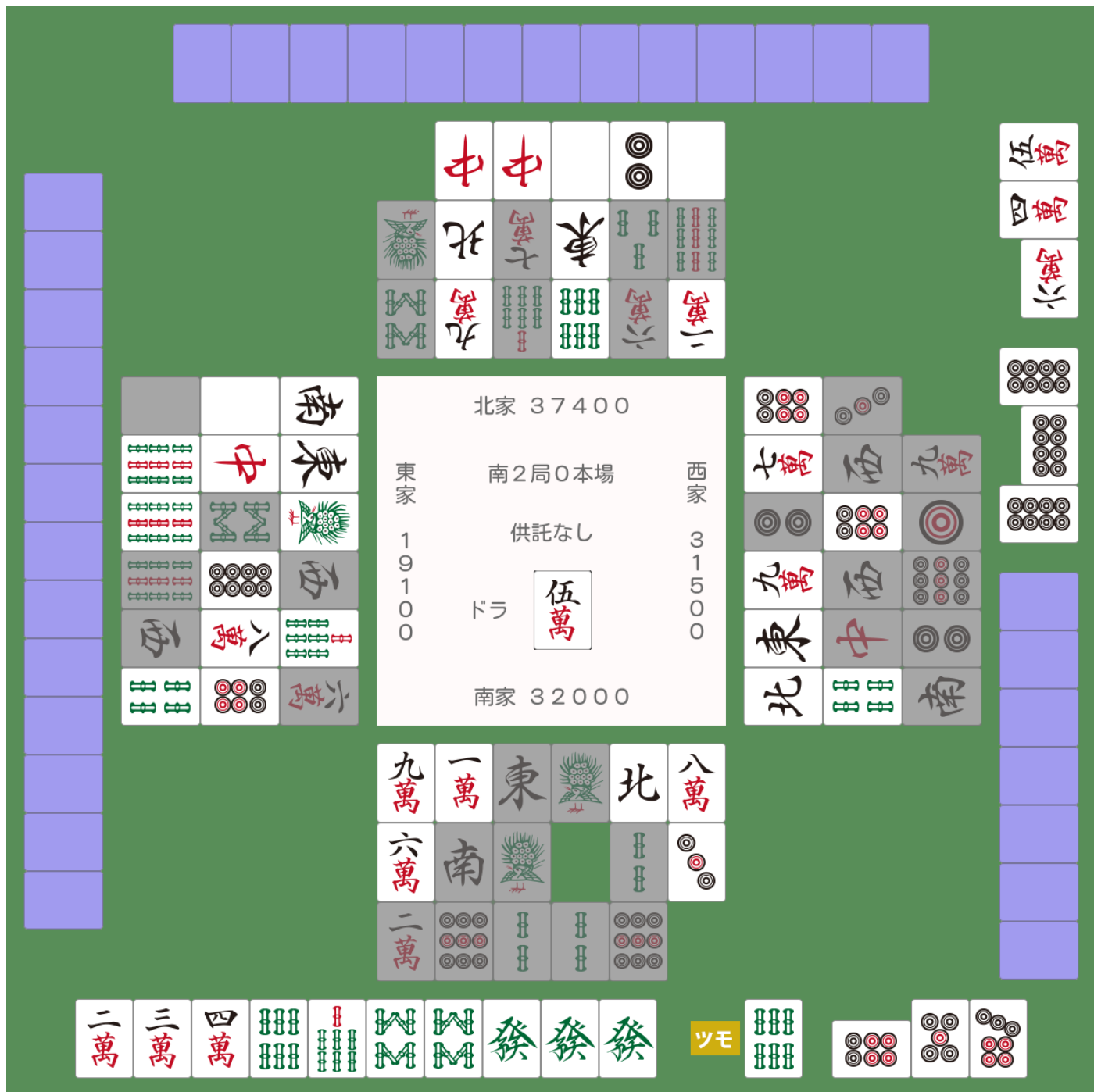
一萬 三萬 四萬 伍萬 伍萬 六萬

ツモ

東家は上記の手牌から打 一萬 とした。

東家の思考を予想し空欄を埋めよ。

問題 2 (配点 50 点)



※南家は12巡目に チー (), 打 としている。

※西家は7巡目に チー (), 打 、10巡目に ポン (), 打 としている。

南家は上記の手牌から打 とした。

南家の思考を予想し空欄を埋めよ。



解答用紙

受験番号	
氏名	




問題 1 (配点 50 点)


リーチをすれば、

ため、できればリーチをしたくない。

リーチをしない前提だと、 を引いた場合の 2900 点の価値は低いため。 を残す価値も通常より低くなる。
また、安全度に関しては、

ため、安全度の面でも  を残した方が優位だと考えた。

また   をチーして打  でテンパイに取った場合、他家は、「仮にチーしてテンパイだとすると

」と読むため  をテンパイまで手牌に持つことにもデメリットがあると考えた。

問題 2 (配点 50 点)

他家の動向について、東家は、


他家の動向について、西家は中張牌の切れ具合からテンパイの可能性が高く、

※手役に関して

※待ちに関して

他家の動向について、北家は、

各打牌の比較だが、まず打  は下記の理由により論外。

以下、打  の比較に関してのみ言及する。

自分の和了に関しては、

現状の放銃率に関して、西家に対しては、

現状の放銃率に関して、東家に対しては、

その他に考慮する要素としては、